



南部町立南部中学校 学校だより 第2号

千一ム南部中

令和元年 5月8日(水)
校長 望月和彦

郷土の歴史や文化を学ぶ「ふるさと探訪」

「ふるさと探訪」は、本校がコミュニティ・スクールになった平成28年度から1年生を対象に実施してきた行事です。地域とともにある学校づくりを推進するためには、生徒たちが住んでいる南部町の歴史や文化について学習し、郷土に誇りを持てるようにしたいという考えから始まりました。

今年度は4月18日(木)に実施しました。午前中、南部地区に住んでいる生徒は富沢地区の文化財や史跡を、



富沢地区に住んでいる生徒は南部地区を、スクールバスや徒歩で移動しながら学習しました。南部地区では、講師の渡辺拓雄先生(前教育長、元南部中校長)が、蒙軒学舎跡、南部氏館跡、妙浄寺などを巡りながら、蒙軒学舎や富士川舟運などの説明をしてくれました。富沢地区では、文化財審議委員の佐野正剛先生が、最恩寺、顕本寺、万沢口留番所跡などを巡りながら、重要文化財や天然記念物、万沢宿などについて説明してくれました。両グループとも道の駅なんぶの「南部氏展示室」にも立ち寄り、南部氏についても詳しく学習しました。アルカディア公園で昼食を食べた後は、文化館の中で、学芸員の若林由美子先生から画家の近藤浩一路さんについて、山本純司先生(元南部中校長)からは蒙軒学舎を建てた近藤喜則さんについての講義を聞きました。午前・午後の講師の4人の先生方は、南部町の歴史、文化財、



偉人などについて、中学生にもわかりやすい言葉を使って、興味や関心がわいてくるお話をしてくださいました。熱心にメモをとりながら集中して話を聴いていた1年生も立派でした。講義を聴いた後、生徒たちは、美術の前田幸子先生の指導のもと、文化館内の近藤浩一路さんの水墨画作品と近藤喜則さんの展示品を鑑賞しました。



地域の歴史や文化財が教科書に書かれている史実につながっていることを知ったり、生まれ育った南部町に我が国を代表するような偉大な人物がいたり、貴重な文化財があったりすることを学ぶ絶好の機会になりました。1年生にはこれをきっかけにして、地域に目を向け、地域をもっと深く知り、南部町に誇りをもてる人になって欲しいと願っています。



講師を引き受けていただいた4人の先生方、4月12日に事前学習として水墨画学習の指導をしていただいた望月勅雄先生(墨酔会主宰)には大変お世話になりました。ありがとうございました。

学力・学習状況の把握と指導法改善のための調査

4月18日(木)に、3年生は「全国学力学習状況調査」、2年生は「山梨県学力把握調査」を行いました。全国学力学習状況調査は平成19年度から、山梨県学力把握調査は平成23年度から、ともに生徒の学力や学習状況を把握・分析し、国や県のレベルでは教育施策の成果と課題を検証し改

善を図ること、それぞれの学校レベルでは教育指導、具体的には授業における指導方法の改善や家庭や地域を含めた学習環境の改善を目的にして実施しています。年度初めで慌ただしい時期でしたが、国内の中学3年生、山梨県内の中学2年生が一斉に調査を受けることから、生徒たちはもちろん、教員も緊張感を持って調査を実施しました。山梨県学力調査は例年通り、国語、数学、英語の3教科のテスト形式で実施しました。全国学力学習状況調査では、今年度初めて英語が加わり、3年生は国語、数学、英語のテストと生活環境や学習状況を把握するための「質問紙調査」を受けました。英語のテストでは、従来の「読むこと」「書くこと」「聞くこと（リスニング）」に加えて、「話すこと（スピーキング）」のテストも実施しました。パソコン室にクラスの半分毎が交代で入り、ヘッドホンとマイクをつけて、パソコンソフトの指示に従って音声を録音するという形式のテストでした。こうしたテストは生徒も教員も初めての経験でしたが、無事に終了することができました。国語と数学では、昨年度までのA問題（知識・技能の調査）とB問題（活用力の調査）の区別がなくなり、知識と活用を一体化した問題に変更になりました。今後も、英語と理科は3年ごとに実施される予定です。それぞれのテストの結果は、1学期末には学校に届く予定です。学校では結果をしっかりと分析し、授業の指導方法の改善を図り、学力の向上に役立てていきます。生徒たちにも、個人の結果は個票にして配布いたします。苦手な部分を把握するとともに、学習方法の改善に役立てて欲しいと思います。



「南部中」の名を背負って！ 峡南地区選手権大会



4月19日（金）・20日（土）に峡南地区選手権大会が行われました。中学校の運動部の教育内大会は、選手権と総体（総合体育大会）と新人戦です。2・3年生にとっては、新人戦以降の冬から春にかけて努力してきた結果を試される大切な日でした。結果に満足できた選手やチームもあれば、悔しい思いをした選手やチームもありました。大切なことは、試合の結果から何が良くて、何が足りなかったのかをきちんと分析し、今後に繋げることだと思います。次の目標である選手権の県大会、あるいは地区総体に向けて、さらに技術と心を高めていって



ください。私は残念ながら、すべての会場で選手を応援することはできませんでしたが、各顧問からの生徒の様子を聞くと、試合でプレーする選手の姿はもちろん、チームを応援する仲間の姿、準備や片付けをする姿、試合会場での様々な場面で「部活動に真剣に取り組んでいる南部中」という伝統を各会場で見せてくれていたようです。地区選手権の結果は次のとおりです。

野球	Aパート決勝で三珠中に勝利「優勝」→【県選抜大会】へ（推薦でも決定済み）
男子バレーボール	市川中に勝利、三珠中に敗退「準優勝」→【県選手権】へ
女子バレーボール	市川南中、三珠中、六郷中、市川中に全勝し「優勝」→【県選手権】へ
男子ソフトテニス	成瀬・近藤組「ベスト8」、2回戦敗退3組、初戦敗退2組
女子ソフトテニス	山本・野中組「第3位」、2回戦敗退1組、初戦敗退3組
男子バスケットボール	増穂中と市川中に敗退「第3位」
女子バスケットボール	増穂中に勝利、市川中に敗退「準優勝」

※ソフトテニスの地区選手権は県大会にはつながっていません。